

## ●医療用ウィッグの助成について

Q.

現在私は、抗がん剤治療をしています。脱毛しはじめ、ウィッグを被らなければ仕事にも行けません。新潟市では7月から助成が始まると聞きました。治療費も高額で身体的にも精神的にもきつく、金銭面ではせめてウィッグの助成があれば気持ちも楽になります。どうか新潟市においても、是非ともウィッグの助成をお願いします。乳がんでうしなつた乳房の再建も助成があれば安心だとおもいます。ご検討のほど宜しく御願い致します。素早い対応可能願います。

(令和5年6月受付)

A.

まずは、心からお見舞いを申し上げますとともに、早期の回復をお祈り申し上げます。

近年は、医療の進歩により、がん治療を続けながら、今までと変わりなく社会生活を続けられる方が非常に多くなっており、罹患後も「自分らしく生活すること」がより重要視される時代になってまいりました。二人に一人ががんに罹患すると言われていた昨今、たとえ、がんを患ったとしても、誰もが今まで通り、自分らしく活気のある生活を送っていただきたいと切に願っております。

このことから、「健康長寿のまち しばた」を掲げる本市といたしましても、外見の変化を補うための「医療用ウィッグ」購入費の助成などの経済的な支援は、精神的な負担を軽減するために大変重要であると捉えております。

ご提案のとおり、がん治療で、外見の変化に不安をお持ちの皆様にごできるだけ早く、対応ができるよう担当課に指示しておりますので、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。正式に助成事業の導入が決定次第、広報しばたなどで広く周知を図りたいと考えております。

(令和5年7月3日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。